



主要な農作物の生育情報

平成24年度 第4号

(平成24年7月13日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

7月10日現在の農業総合センターの生育調査では、いずれの地域でも草丈が平年より短く、茎数はばらつきはありますが浜、会津地域ではおおむね平年並み、本部では多い状況です。また、葉齢は平年よりやや遅れ（会津地域のコシヒカリを除く）、葉色はやや濃い状況となっています。

表1 水稻の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月10日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉齢	葉色
本 部	コシヒカリ	5.16	49.0 (80%)	798 (119%)	10.0 (-0.4)	33.7 (+2.3)
	ひとめぼれ	5.16	48.0 (82%)	849 (119%)	9.9 (-0.6)	37.4 (+2.6)
浜 地 域	コシヒカリ	5.10	51.7 (69%)	728 (101%)	10.0 (-1.1)	35.8 (+2.9)
	ひとめぼれ	5.10	50.8 (69%)	688 (92%)	10.2 (-1.0)	38.1 (-1.4)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.21	53.8 (80%)	650 (100%)	10.7 (+0.2)	33.9 (+1.5)
	ひとめぼれ	5.21	52.7 (81%)	726 (100%)	10.4 (-0.2)	37.8 (+2.7)

※ 調査：農業総合センター本部（郡山）、浜地域研究所（相馬）、会津地域研究所（会津坂下）
（ ）内の数字は本部と会津地域は平年比較。浜地域は前年比較。

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

5月下旬に定植したもので、平年並みの6月下旬からの収穫開始となっています。初期の低温の影響で節間が短くなっていますが、概ね順調な生育となっています。病害虫では黒星病、べと病の発生が見られます。

2 夏秋トマト

県南地方の2月下旬から3月上旬にかけてのは種の作型では、現在8～9段果房が開花中で3～4段果房を収穫中です。初期の低温の影響で1～2段果房にはチャック果、窓あき果の発生が見られました。病害虫では灰色かび病、コナジラミ類の発生が見られます。

3 サヤインゲン

県中地方の定植作業は5月中旬から行われ、収穫は6月下旬より行われています。生育は定植後の低温で平年より7日程度遅れています。害虫では、ハモグリバエ類の発生が見られます。

4 夏秋ピーマン

県中地方でのトンネル栽培の定植は5月上旬に行われ、収穫は平年並みの6月中旬から行われています。露地栽培の定植は5月下旬から6月上旬に行われ、収穫は7月中旬頃より行われる見込みです。病害では、灰色かび病の発生が見られます。

5 夏秋ナス

県中地方での露地栽培の定植は5月中旬から行われ、収穫は6月下旬から行われています。生育は定植後の低温で5～7日程度遅れています。病害では、灰色かび病の発生が見られます。

6 アスパラガス

会津地方では露地栽培は5月下旬から立茎を開始し、現在擬葉展開中で夏秋どりは7月中旬に開始となる見込みです。半促成栽培は、6月中旬から夏秋どりの収穫を開始しています。

【果 樹】（7月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 モ モ

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が48.2mmで平年比102%、側径が44.3mmで平年比98%と平年並み、「ゆうぞら」は縦径が45.6mmで平年比99%、側径が38.2mmで平年比93%と小さい状況です。果実の生育日数による比較では、両品種ともに平年よりやや大きい状況です。

農業総合センター果樹研究所によると、「あかつき」の収穫開始、収穫盛りともに平年より8日程度遅いと予測されています。

2 ナ シ

「幸水」は縦径が34.1mmで平年比109%、横径が40.2mmで平年比109%と平年より大きく、「豊水」は縦径が34.9mmで平年比106%、横径が38.0mmで平年比108%と大きい状況です。果実の生育日数による比較でも、両品種ともに平年より大きい状況です。

農業総合センター果樹研究所によると、「幸水」の収穫盛りは平年より4日程度遅いと予測されています。

3 リンゴ

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が50.7mmで平年比104%、横径が53.9mmで平年比99%とほぼ平年並み、「ふじ」は縦径が45.4mmで平年比103%、横径が46.8mmで平年比101%と平年並みの状況です。果実の生育日数による比較では両品種ともに平年より大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、8月咲き品種の草丈や節数は、ほぼ平年並みの順調な生育です。9月咲き品種の定植は、平年並みの6月上旬に終了し、生育は順調です。

2 リンドウ

会津地方及び南会津地方の新盆向けの極早生品種の出荷は、6月下旬から順調に出荷を開始しています。早生品種の生育は、ほぼ前年並みの草丈で、7月下旬からの出荷となる見込みです。

3 シュッコソウ

高冷地の越冬株栽培での出荷は、7月中旬から最盛期となる見込みです。害虫は、ハモグリバエ類やヨトウムシ類の発生が一部に見られます。

4 トルコギキョウ

会津地方の無加温促成栽培は、ほぼ平年並みに7月中旬が出荷のピークとなる見込みです。また、季咲きの作型では、7月下旬から計画通りに出荷される見込みです。

【飼料作物】

1 牧草

1 番草は、平坦部では5月下旬から、山間部では6月上旬から収穫期となり、収穫作業が行われました。収量は平年並みからやや少ない状況となっています。

2 番草は、1 番草の刈り取りが平年よりやや遅れたことから、草丈の短い地域も見られますが、平坦部では7月中旬、山間部では7月下旬に収穫期となる見込みです（昨年秋に除染（草地更新）を行った牧草地）。

なお、南会津や会津の一部を除き、今後県内の多くの地域で除染が行われる予定です。

2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、5月上旬から播種作業が行われ、現在8葉期前後で、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224